

# 令和6年第3回宝塚市議会（定例会）一般質問一覧表

令和6年9月26日（木）～ 10月1日（火）

（場所：宝塚市議事堂）

発言順位	発言者	質問方式	発言時間	予 定 日 時	
1	坂本篤史	一問一答式	45分	9/26 (木) 6人	9:30～10:15
2	三宅浩二	一問一答式	60分		10:15～11:15
3	末永やよい	一問一答式	60分		12:45～13:45
4	北野聡子	一問一答式	60分		13:45～14:45
5	中野正	一問一答式	60分		15:00～16:00
6	藤岡和枝	一問一答式	60分		16:00～17:00
7	持田ちえ	一問一答式	60分	9/27 (金) 6人	9:30～10:30
8	中山ゆうすけ	一問一答式	60分		10:30～11:30
9	川口じゅん	一問一答式	50分		12:45～13:35
10	みとみ 智恵子	一問一答式	60分		13:35～14:35
11	寺本早苗	一問一答式	60分		14:50～15:50
12	おだ たか子	一問一答式	60分		15:50～16:50
13	大島淡紅子	一問一答式	60分	9/30 (月) 6人	9:30～10:30
14	大島千都世	一問一答式	60分		10:30～11:30
15	村松あんな	一問一答式	60分		12:45～13:45
16	泉友紀	一問一答式	60分		13:45～14:45
17	浅谷亜紀	一問一答式	50分		15:00～15:50
18	伊庭聡	一問一答式	60分		15:50～16:50
19	桑原健三郎	一問一答式	60分	10/1 (火) 5人	9:30～10:30
20	大川裕之	一問一答式	60分		10:30～11:30
21	池田光隆	一問一答式	60分		12:45～13:45
22	田中こう	一問一答式	60分		13:45～14:45
23	北山照昭	一問一答式	60分		15:00～16:00

※各質問の予定日時につきましては、議事の進行状況により前後することがあります。

(注) 表中、議員名下の ( ) は質問形式

順位	議員名	件名
1	坂本 篤史 (一問一答式)	1 緊急通報システムの拡充について (1) 緊急通報の現状 ア 緊急通報の件数の推移 イ NET119の利用登録者数、利用状況は ウ Live119の導入について  2 AEDについて (1) AEDの現状について ア AEDの設置台数の推移 イ AEDの利用状況は ウ AEDの設置場所の周知について  3 子宮頸がん予防ワクチンについて (1) キャッチアップ接種について ア 接種状況について イ 今後の対応について
2	三宅 浩二 (一問一答式)	1 夏休みにおける待機児童対策について (1) 各事業の実施結果 ア 拠点夏期臨時保育(小・中学校活用) イ 夏期休業期間臨時自主保育 ウ 地域児童育成会による夏期緊急枠受入れ エ ファミリーサポートセンター事業利用助成 (2) 来年度以降の取組について  2 災害時の「福祉的な支援」及び保健衛生環境の整備について (1) 本年6月に国の防災基本計画が修正されたことを受けて災害時の「福祉的な支援」及び保健衛生環境の整備について (2) 保健師、福祉関係者、NPOなどとの事前調整について (3) 指定避難所の保健衛生環境の整備について  3 公共交通実証実験について (1) 山本地区コミュニティバス実証実験について ア 現在の利用状況 イ 利用者の声 ウ 実証実験の認知度 (2) 安倉地区実証実験、売布・清荒神地域AIオンデマンド交通実証実験について ア 実証実験の周知徹底

<p>3 末永 やよい (一問一答式)</p>		<p>1 宝塚市立病院について</p> <p>(1) 病院の建て替えについて</p> <p>ア 建て替え決定のプロセスについて</p> <p>イ 宝塚市立病院経営強化プランにおける経営形態の見直しに係る留意事項（医師等の確保・経営黒字化）について</p> <p>ウ 宝塚市立病院が目指す病院像において、開院時の前提条件・運営資金確保について</p> <p>エ 宝塚市立病院経営強化プランに対するパブリック・コメントの対応と市の評価について</p> <p>オ 今後策定される宝塚市新病院整備基本計画に対するパブリック・コメントについて（計画内容・市民への周知方法・市民への理解など）</p> <p>(2) 病院事業会計について</p> <p>ア 今までの経営に対する評価と今後の見通しについて</p> <p>イ 収益向上に向けての取組について</p> <p>2 令和6年度事務事業見直しについて</p> <p>(1) 目標取組額10億円に対して取組見込額2.8億円についての評価</p> <p>(2) 今後、市の財政への影響をどう考えるのか</p> <p>(3) 市民への周知について</p> <p>(4) 財政の危機的状況を回避するための取組である今回の事務事業見直しについて、市長の考えは</p>
<p>4 北野 聡子 (一問一答式)</p>		<p>1 学校に行きづらい子どもの支援と多様な学びの場と居場所の整備について</p> <p>(1) アシストルームについて</p> <p>ア 支援員が配置されていない学校への対策は</p> <p>イ アシストルームとしての環境整備は進んでいるのか</p> <p>ウ 支援員が来ない日の運営や対策は</p> <p>(2) 教育支援センター「Palたからづか」及び「Cocoたからづか」の現状と今後の課題は</p> <p>(3) 多様な学びの場所としての「フリースクール」を選択する子どもの現状は</p> <p>2 公立保育所について</p> <p>(1) 地域の子育ての核である公立保育所が果たす役割は</p> <p>(2) 保育内容の充実、保育の質の確保継続のため、保育所職員（正規職員）の定員配置は維持できているのか</p> <p>(3) 特別支援担当保育士の配置状況は</p> <p>(4) 子どもの健康安全管理のために、保健師や看護師を常時各保育所に配置できないか</p> <p>(5) 国が提唱している「こども誰でも通園制度」について、保育所として現在は受け入れるのが難しい状況にあると聞くが、市としてどのように進めていくのか</p>

		<p>3 人工透析患者やオストメイトの方々の社会不安の解消に向けて</p> <p>(1) 人工透析患者の方々の社会不安の解消に向けて</p> <p>ア 医療負担過多とならないように「重度障害者医療費助成事業」を継続していただけるのか</p> <p>イ 人工透析患者の災害避難計画はどのように整備されているか</p> <p>(2) オストメイト（人工肛門・人工膀胱保有者）の方々の社会不安の解消に向けて</p> <p>ア オストメイト対応トイレの現状は</p> <p>イ ストーマ装具代金の負担軽減を</p> <p>ウ 災害時の避難所などにおける対策はできているか</p>
5	中野 正 (一問一答式)	<p>1 空き家対策について</p> <p>(1) 国土交通省として令和6年度所有者不明土地等対策モデル事業において、先導的な取組等を行う団体を採択した</p> <p>ア 本市として、採択されたモデル事業を行う事業者との連携はあるのか</p> <p>2 帯状疱疹ワクチンの定期接種化について</p> <p>(1) 帯状疱疹ワクチンの定期接種化についての国の動向は</p> <p>(2) 本市の現状の取組と今後の取組は</p> <p>3 ギャンブル依存症について</p> <p>(1) ギャンブル依存症についての兵庫県での取組は</p> <p>(2) ギャンブル依存症についての本市での取組は</p> <p>4 ごみ減量化の取組について</p> <p>(1) 生ごみ処理機に対する助成の状況について</p> <p>ア 本市での今までの取組について</p> <p>イ 各市で行っている状況について</p> <p>5 マイナンバーカードのさらなる普及について</p> <p>(1) 宝塚駅前サービスステーションなど市役所以外での申請受付・発行はできないか</p> <p>(2) 他市の申請状況と普及の工夫は</p>
6	藤岡 和枝 (一問一答式)	<p>1 子どもにやさしいまちの実現に向けて</p> <p>(1) 子どもの意見を市政に反映させる取組について</p> <p>(2) 子どもの権利擁護に関する取組について</p> <p>(3) 「こどもまんなか応援サポーター」宣言の趣旨を踏まえた取組の検証は</p> <p>2 新しい時代を生きる子どもたちが主役の教育政策の推進を</p> <p>(1) 教育環境整備の進捗状況について</p>

		(2) コミュニティ・スクール等本市の教育課題の進捗状況について
7	持田 ちえ (一問一答式)	<p>1 豊岡演劇祭2024 in 宝塚について</p> <p>(1) 宝塚らしい文化芸術とにぎわい</p> <p>ア 実施の経緯と結果</p> <p>イ 文化芸術の評価の仕方</p> <p>ウ 今後の予定は</p> <p>2 子どもの最善のために</p> <p>(1) PTAについて</p> <p>ア 市民協働の観点から市としてできることはないか</p> <p>(2) 命を守るために</p> <p>ア 教育委員会・学校からのメッセージについて</p> <p>イ 宝塚市として取り組んでいることはあるか</p> <p>(3) プールの授業について</p> <p>ア 健康観察カードの取扱いについて</p> <p>イ 改善できる点はあるか</p> <p>(4) ワクチンについて</p> <p>ア 市民へのメリットとデメリットの説明は</p> <p>イ 健康を守るため免疫力を上げるなどほかの方法の啓発は</p> <p>3 オーガニックの取組について</p> <p>(1) 市長としてオーガニックをどのように捉えているか</p> <p>ア 農地へのアプローチ</p> <p>イ 市内でのネオニコチノイドの使用状況と考え</p> <p>ウ 「学校給食」についての考え</p> <p>エ 食料危機への備えとして輸入肥料に頼らない有機農業という選択は</p> <p>(2) 学校給食について</p> <p>ア 昨年度以降の取組について</p>
8	中山ゆうすけ (一問一答式)	<p>1 JR宝塚駅北側の駐輪問題について</p> <p>(1) JR宝塚駅北側の駐輪問題について本市が取り組んでいることは</p> <p>2 指定管理者による公共施設管理の在り方について</p> <p>(1) 指定管理者による公共施設管理に不備が生じた場合、市はどのような対応を取るべきか、または取れるのか</p> <p>(2) 指定管理者による公共施設管理に不備が生じないよう、市があらかじめ取っておくべき方策は何か</p> <p>3 市役所窓口における市民対応の在り方について</p> <p>(1) 本市において、市役所職員の接遇スキル向上のため行われている取組は何か</p>

		<p>4 本市の教育問題に対する教育長の見解について</p> <p>(1) 教育長は、宝塚市の教育行政について、どのような課題があると認識しているか</p> <p>(2) 教育長は、それらの課題についてどのような取組をしていきたいとお考えか</p>
9	川口 じゅん (一問一答式)	<p>1 高校入試について</p> <p>(1) 公立高校入試における追試対象に「月経痛による体調不良」が追加されたことの周知は</p> <p>(2) 不登校や長期欠席の生徒への対応について</p> <p>ア 不登校の中学生の人数は（学年別・過去5年）</p> <p>イ 成績評価について（令和6年8月の文部科学省通知を受けて）</p> <p>ウ 不登校の生徒・保護者への進路指導は</p> <p>2 年齢を重ねても安心して暮らせるまちづくりについて</p> <p>(1) 最期まで安心して暮らせるまちに</p> <p>ア 火葬場の現状の課題と方向性は</p> <p>イ 市営葬儀を導入することへの見解は</p> <p>(2) 認知症について</p> <p>ア 認知症基本法成立に伴う本市の取組は</p> <p>イ 認知症行方不明者の早期発見・保護の取組は</p> <p>ウ 「希望をかなえるヘルプカード」の活用は</p>
10	みとみ智恵子 (一問一答式)	<p>1 誰もが生き生きと暮らせるまち、宝塚</p> <p>(1) 地域医療構想について</p> <p>ア コロナパンデミックの振り返り</p> <p>イ 公立病院の役割</p> <p>ウ 地域医療を守るために</p> <p>(2) 米不足問題について</p> <p>ア 実態の把握</p> <p>イ 学校給食・子ども食堂への影響は</p> <p>ウ 米農家支援について</p> <p>(3) 大阪・関西万博について</p> <p>ア 意向調査の結果</p> <p>イ 安全ではない校外学習</p>
11	寺本 早苗 (一問一答式)	<p>1 子どもたちの豊かな放課後等の居場所を守るために</p> <p>(1) この夏期休業中に行われた放課後児童クラブの臨時待機児童対策事業の実績と今後の対応について</p> <p>(2) 最低賃金の引上げによる人件費の上昇分は、民間放課後児童クラブや放課後子ども教室、児童館等への補助金・委託費に反映されるのか</p>

		<p>2 介護ファミリーサポートセンター事業の民間移行について</p> <p>(1) 行政評価委員会で指摘のあった「利用者への影響」をどう確認し、失われる地域の機能についても検討したのか</p> <p>(2) 宝塚市保健福祉サービス公社への補助金打切りに激変緩和の考えはないのか</p> <p>(3) 大幅な利用負担増やサービス内容の変更点について、関係者の理解は得られたのか。十分な説明といえるか</p> <p>3 旧安田邸の保存・利活用について</p> <p>(1) 旧安田邸の文化的価値及び保存・利活用する意義について</p> <p>(2) 再生・活用をめざす地域発の新プロジェクトが進行中と聞く。今後の方針は</p> <p>4 公益通報制度について</p> <p>(1) これまでの実績</p> <p>(2) 外部相談窓口の設置状況について</p>
1 2	おだ たか子 (一問一答式)	<p>1 生きがづくり 「遺贈寄附」について</p> <p>(1) 2025年問題を控え世の中の動向に合わせた本市での「遺贈寄附」の受入れは</p> <p>ア 遺贈寄附の前年度実績</p> <p>イ 本市の30余りある基金の中で、福祉基金や、子ども未来基金などを指定できるか</p> <p>ウ それらの基金などを指定した場合どういったことに使われるか</p> <p>2 安心安全 上下水道局の水質検査室の取組</p> <p>(1) 上下水道局として水質検査室を持つことのメリット</p> <p>ア PFASなど報道されている不安要素の払拭に水質検査室が行っている定期検査は</p> <p>イ PFASに関する市民への周知に市ホームページへも詳しく記載されたが水質検査室の広報周知は</p> <p>ウ PFASの規制状況について</p> <p>3 平和の願い タイムカプセルについて</p> <p>(1) 先日開封されたタイムカプセルの内容物と反響は</p> <p>ア 30年前の小学生の作文や市民の手紙があったが展示後はどうされたか</p> <p>イ 今年再び埋めると30年後の開封時は市制100周年になるが行わないのか</p>
1 3	大島 淡紅子	1 高齢者施策について

	(一問一答式)	<p>(1) 介護ファミリーサポートセンター事業について</p> <p>ア 来年4月からの大きな制度変更は</p> <p>イ 2回の説明会の参加状況(質疑の状況と参加割合)とご意見の内容は</p> <p>ウ 周知後の会員の動向は</p> <p>(2) 養護老人ホーム福寿荘について</p> <p>ア 居室の状況は</p> <p>イ 入所者の状況は</p> <p>2 公益通報者保護制度の運用について</p> <p>(1) 運用状況は</p> <p>(2) 2022年の条例改正後の変化は</p> <p>(3) 2020年度の調査結果はどう決着したのか</p> <p>3 放課後児童クラブについて</p> <p>(1) 今夏期休業期間の地域児童育成会待機児童対策の検証結果は</p> <p>(2) 今後の待機児童対策は</p> <p>(3) 長尾小学校区の待機児童のために、市が依頼し、まちづくり協議会が立ち上げたNPO法人への支援をすべきでは</p> <p>4 インターネット動画による差別について</p> <p>(1) 「昭和レトロな街並み、古い団地、バラック街、その他を探訪」と称し、巧妙に差別的な動画を流している件に関して</p> <p>ア 差別と認識しているか。認識している場合は、どのように対処しているか</p>
1 4	大島 千都世 (一問一答式)	<p>1 市道3153号線の安全確保について</p> <p>(1) 都市計画の一つとなっているが計画状況は</p> <p>2 特定相談支援事業所について</p> <p>(1) 宝塚市内の相談支援専門員人数は</p> <p>ア 市内の特定相談支援事業所数とその事業所の相談支援専門員及び相談員の人数は</p> <p>イ 相談支援専門員1人当たりの担当利用者の平均人数は</p> <p>3 河川敷の利用について</p> <p>(1) 河川敷を駐車場として利用するときの条件は</p>
1 5	村松 あんな (一問一答式)	<p>1 教育環境適正化に向けた取組</p> <p>(1) 教育環境に係る基本方針</p> <p>(2) 宝塚第一小学校の教育環境</p> <p>2 令和6年度事務事業見直しについて</p>

		<p>(1) 事務事業評価との違い</p> <p>(2) 費用対効果に見合った負担金の見直しと受益者負担適正化ガイドラインの考え方に沿った使用料、手数料の見直し</p> <p>3 子育て世代の負担軽減</p> <p>(1) 物価高騰重点支援給付金について</p> <p>(2) 学校における物品の共有について</p>
1 6	泉 友紀 (一問一答式)	<p>1 地域児童育成会について</p> <p>(1) 長期休み期間中のお弁当配食について</p> <p>ア 本市の状況</p> <p>(2) アンケート調査について</p> <p>2 女性の健康について</p> <p>(1) 健康増進事業の実施状況</p> <p>ア 相談窓口の利用状況</p> <p>(2) 今後の取組について</p> <p>3 ひきこもり支援について</p> <p>(1) 実態調査について市の考えは</p> <p>(2) こもりん広場の利用実態</p> <p>(3) 生活困窮者自立支援事業の業務内容</p>
1 7	浅谷 亜紀 (一問一答式)	<p>1 市民の共有財産である図書館資料が雨漏りによる水損被害危機にさらされていることについて</p> <p>(1) 雨漏りが激しい中央図書館施設の改修はいつ行うのか</p> <p>(2) 蔵書等市民の共有財産を長年水損被害の危機にさらしてきていることについて、市の見識は</p> <p>(3) 図書館職員の懸命な被害対策を、市はどのように認識しているのか</p> <p>(4) 雨漏りが清荒神清澄寺より寄贈された貴重な図書や資料が保管されている「聖光文庫」にも及んでいることに対し、市はどう考えるのか</p> <p>(5) 老朽化が顕著な中央図書館施設の今後の方向性は</p> <p>2 わがまちに対する寄附をより円滑に受け付ける方策について</p> <p>(1) 市民等からの寄附を受け入れる窓口とその周知は</p> <p>(2) 年度をまたいでも寄附者の意向に寄り添い、目的別に受け入れられる方策は</p> <p>(3) 全国で増加している遺贈寄附をより円滑に進めることの重要性をどのように捉え、それに伴う方策を講じるべきではないか</p>
1 8	伊庭 聡 (一問一答式)	<p>1 安全・安心な学校給食について</p> <p>(1) オーガニックも含む安全・安心と言われている給食についての考えは</p>

		<p>2 市公式LINEの運用について</p> <p>(1) 昨年度、宝塚市公式LINEに機能拡張があったが、どんな拡張があったのか</p> <p>3 新型コロナワクチン定期接種開始について</p> <p>(1) 定期接種における市の負担</p> <p>(2) レプリコンワクチンについての見解</p>
19	桑原 健三郎 (一問一答式)	<p>1 「宝塚市の教育」における組織風土改革は進んでいるか</p> <p>(1) 組織風土改革の取組・改善状況</p> <p>ア 教育委員会</p> <p>イ 校長会</p> <p>ウ 学校現場（教職員）</p> <p>(2) 改革推進のために「学校運営協議会」が担い得る役割について</p> <p>(3) 市教育委員会としての保護者・地域住民からの匿名相談窓口について</p> <p>2 学校給食における「バラエティー豊かな献立」の確保について</p> <p>(1) 本市の取組状況は</p> <p>(2) 物価高騰による影響は</p> <p>(3) パン給食の廃止に伴う影響は</p> <p>(4) 本市の目指す学校給食の在り方について</p>
20	大川 裕之 (一問一答式)	<p>1 行財政経営について</p> <p>(1) 令和5年度決算を見ると、いよいよ厳しさが現実味を帯びてきたが、これにどのように対応していくのか。市長のビジョンを</p> <p>(2) 令和6年度事務事業見直しには、大変厳しい財政状況を踏まえた、大きな改革や見直しが読み取れないが、その理由はなぜか。これまでと同じような削減型の見直しで厳しい財政状況に対応できると考えているのか</p> <p>2 市制70周年記念イベントの影響について</p> <p>(1) 市制70周年記念イベントについて、市が事務局等を担っているイベント数は</p> <p>(2) 事務局等を担っているイベント数が、例年と比べてどれほど増えているか</p>
21	池田 光隆 (一問一答式)	<p>1 売布自由ガ丘の道路建設と自治会館建設について</p> <p>(1) 令和3年、4年の一般質問で取り上げた、売布自由ガ丘における道路建設及び自治会館建設の現在までの進捗状況について</p> <p>ア その後の市と開発事業者、地域住民との間での開発事業における道路建設及び自治会館建設の進捗状況について</p>

		<p>2 都市経営について</p> <p>(1) 令和6年度（2024年度）事務事業見直しと都市経営について</p> <p>ア 令和6年度（2024年度）事務事業見直しの背景について</p> <p>イ 現在、市が捉える行財政経営方針における課題について</p>
22	田中 こう (一問一答式)	<p>1 市民の「いのちとくらし」を守るために</p> <p>(1) 自殺防止に全力を</p> <p>ア 今年度の自殺予防週間（9月10日～16日）、自殺対策強化月間（3月1日～31日）の取組は</p> <p>イ 今年3月に策定された「やさしいたからづか推進計画」（第2期）改定のポイントは</p> <p>ウ 子どもの自殺対策における1人1台端末の活用は</p> <p>エ 職員のゲートキーパー養成講座の受講目標と進捗、eラーニング教材の活用は</p> <p>オ 都道府県に設置されている「こども・若者の自殺危機対応チーム」との連携は</p> <p>(2) 「住まいは人権」の住宅政策を</p> <p>ア 本市における生活困窮者の住まい確保に関する現状と課題は</p> <p>イ 住宅困窮者対策は</p> <p>(3) 2024年度事務事業見直しについて</p> <p>ア 590の事務事業の見直しは十分な時間をかけて実施されたのか</p> <p>イ 市民への説明責任をどう果たしていくのか</p>
23	北山 照昭 (一問一答式)	<p>1 宝塚市の持続可能な行財政運営に向けて</p> <p>(1) 「財政が大変厳しい状況」とは</p> <p>(2) 副市長通知（3月）「収支を悪化させる要因が山積している」とは</p> <p>(3) 令和7年度予算に向け、10億円の事業見直し取組目安額はできるのか</p> <p>(4) 「このようにして何とか乗り切っていくと」乗り切る手法とは</p> <p>2 職員が健康で明るく、伸び伸びと能力を発揮できる職場づくりを</p> <p>(1) 市長は、自らハラスメントをせず、周りにもさせない宣言を</p> <p>(2) 首長が加害した場合を想定した内部手続（規定等）の明確化を</p> <p>(3) 次長級などの休職の実態について</p>